

## 2020 ひろしま避難者の会「アスチカ」会員情報のまとめとアンケート(配布用)

2020.3.9

ひろしま避難者の会「アスチカ」

### 【ひろしま避難者の会「アスチカ」とは？】

避難者による避難者のための会です。

東日本大震災の地震や津波、東京電力福島第一原発事故の避難者がここ広島で生活の基盤や気持ちを整えたり、同じ思いの仲間を見つけたりしながら、避難生活を落ち着かせ、次のステップへ踏み出すことをサポートする当事者団体として設立しました。現在、アスチカには 103 世帯 337 名の避難者が登録しています。

※「アスチカ」＝「明日へすすむ力」

表1 広島県把握の避難者数

|             | 世帯数(人数)   | %    |
|-------------|-----------|------|
| 岩手          | 1 (3)     | 0.8  |
| 宮城          | 27 (55)   | 22.5 |
| 福島          | 63 (170)  | 52.5 |
| その他(関東地方など) | 29 (71)   | 24.2 |
| 計           | 120 (299) |      |

2020年1月31日

※表1の人数は全国避難者情報システム(総務省)への本人からの登録により把握されている人数です。すべての避難・移住者が登録しているものではありません。広島県にも未登録の避難者が数多くいます。

表2 アスチカ会員世帯 避難元別

|      | 世帯数(人数)   | %     |
|------|-----------|-------|
| 岩手県  | 0 (0)     | 0.0%  |
| 宮城県  | 9 (30)    | 8.7%  |
| 福島県  | 47 (157)  | 45.6% |
| 関東地方 | 47 (150)  | 45.6% |
| 計    | 103 (337) |       |

2020年2月29日

世帯数は前年と変わらず。新規入会世帯は3世帯。うち2世帯は、すでに長く広島で暮らしていた世帯でした。

退会は3世帯。自主退会が1世帯、避難元へ戻った世帯が1世帯、他県への転居が1世帯でした。

表3 アスチカ会員 世帯状況

|             | 世帯数 | %     |
|-------------|-----|-------|
| 単身          | 6   | 5.8%  |
| 大人のみ        | 15  | 14.6% |
| 大人+子ども世帯    | 82  | 79.6% |
| (うち父子・母子世帯) | 20  | 19.4% |

大人+子ども世帯、子どもの年齢層が未就学児～小学生低学年が中心だったものが、小学生高学年～中高生が中心になりました。子どもが就職や進学によって別な土地で暮らすことになるといった話も増えてきました。

アスチカ会員アンケート結果 回収数 46世帯／103世帯(回収率 44.7%)

2月23日(日)郵送により配布 3月7日(土)までの回答分を集計

Q1 全国避難者登録システムに登録されていますか？

|         | 回答数 | %    |
|---------|-----|------|
| 登録している  | 31  | 67.4 |
| 登録していない | 15  | 32.6 |

登録は任意。登録していても、引っ越し後には自分で変更手続きが必要になる。手続き漏れなども散見される。

登録の継続希望

|       | 回答数 | %     |
|-------|-----|-------|
| 継続する  | 28  | 90.3% |
| 解除したい | 3   | 9.7%  |

(解除希望理由)

- ・メリットが全くない。情報提供されない。

Q2 住民票は異動しましたか？

|         | 回答数 | %    |
|---------|-----|------|
| 異動した    | 42  | 91.3 |
| 異動していない | 4   | 8.7  |

異動した理由

(複数回答あり)

|               | 回答数 | %    |
|---------------|-----|------|
| 移住だから         | 16  | 38.1 |
| 今、住んでいる場所だから  | 13  | 31.0 |
| 避難先へ納税        | 1   | 2.4  |
| 仕事の都合         | 3   | 7.1  |
| 子どもの保育園や学校の都合 | 8   | 19.0 |
| 公営住宅入居のため     | 1   | 2.4  |
| その他           | 2   | 4.8  |

(異動した理由・その他)

- ・介護に必要なため
- ・いろいろ手続きが面倒だった。

異動しない理由

(複数回答あり)

|                     | 回答数 | %     |
|---------------------|-----|-------|
| 不都合がない              | 4   | 100.0 |
| 家族のつながり             | 1   | 25.0  |
| 避難元の子どもの医療費支援が充実    | 1   | 25.0  |
| 福島県県民健康調査などの健康管理の維持 | 0   | 0.0   |
| 避難元への愛着             | 1   | 25.0  |
| 復興住宅への入居意向のため       | 0   | 0.0   |
| その他                 | 0   | 0.0   |

### Q3 避難の理由は何ですか？

(複数回答あり)

|                   | 回答数 | %    |
|-------------------|-----|------|
| 地震による家屋の消失・損壊     | 6   | 13.0 |
| 津波による家屋の消失・損壊     | 1   | 2.2  |
| 原発事故による強制避難       | 5   | 10.9 |
| 原発事故による健康影響(含、不安) | 41  | 89.1 |
| 仕事がなくなった          | 0   | 0.0  |
| 精神的ストレス           | 15  | 32.6 |
| 余震への不安            | 8   | 17.4 |
| 原発事故悪化への不安        | 24  | 52.2 |
| その他               | 5   | 10.9 |

広島には原発事故の影響で避難した人が多く、土地柄もあり、原発事故への感も高く持っていています。

しかし、津波と地震の影響で広島に来ている人も確実におり、広島での定住を決めている方もいます。そういう方がいることも知っていたらうれしいです。

(その他・自由記入)

原発事故の終息が見えなかった／夫婦ともに広島出身で、今後首都直下地震が発生すると…との不安／転勤／政府（福島県）の対策がチェルノブイリ以下。ウソで隠蔽しているから／津波被害の地域に近かったので、津波後の粉塵がひどかった。

### Q4 広島へ避難された理由は何ですか？

(複数回答あり)

|              | 回答数 | %    |
|--------------|-----|------|
| 地震等自然災害が少ない  | 6   | 13.0 |
| 被災地から遠い      | 8   | 17.4 |
| 自然に恵まれている    | 7   | 15.2 |
| 被爆地であることへの期待 | 9   | 19.6 |
| 生活が便利        | 3   | 6.5  |
| 家族・親族がいる     | 17  | 37.0 |
| 友人・知人がいる     | 6   | 13.0 |
| 知っている避難者がいる  | 2   | 4.3  |
| たまたま仕事が見つかった | 14  | 30.4 |
| 以前住んだことがある   | 1   | 2.2  |
| 西の食材が手に入りやすい | 12  | 26.1 |
| 一時避難・保養に来た縁  | 1   | 2.2  |
| 避難者への支援がある   | 2   | 4.3  |
| その他          | 6   | 13.0 |

(その他・自由記入)

転勤／たまたま土地・農地が見つかった／昔、旅行できたことがあり、印象がよかった／出身地／援助・支援・避難の手助けをしてくれる団体と知り合った／3.11の放射能の影響が少ないのが瀬戸内地方だったため(海外の論文参照)

避難の時期が早い会員は「家族・親族がいる」の選択が多め。関東からの避難者は仕事を確実に決めてから移動されている場合が多い。「被災地から遠い」「西の食材が手に入りやすい」という選択が多いのは原発事故での避難者が多いから。

## Q5 現在お住まいの住宅は？

### 【住宅支援を受けている方】

|                      | 回答数 | %   |
|----------------------|-----|-----|
| 県営住宅                 | 2   | 4.3 |
| 市・町営住宅               | 1   | 2.2 |
| ビレッジハウス<br>(旧雇用促進住宅) | 0   | 0.0 |
| 民間借り上げ住宅             | 0   | 0.0 |
| その他                  | 0   | 0.0 |

### 【住宅支援を受けていない方】

|                      | 回答数 | %    |
|----------------------|-----|------|
| 県営住宅                 | 1   | 2.2  |
| 市・町営住宅               | 1   | 2.2  |
| ビレッジハウス<br>(旧雇用促進住宅) | 1   | 2.2  |
| 民間賃貸住宅               | 17  | 37.0 |
| 実家、親戚宅               | 7   | 15.2 |
| 持ち家                  | 13  | 28.3 |
| その他                  | 2   | 4.3  |
| 無回答                  | 1   | 2.2  |

(その他) 家族の持ち家/民間無料住宅

## Q6 お住まいでのお悩みはありますか？

|     | 回答数 | %    |
|-----|-----|------|
| はい  | 18  | 39.1 |
| いいえ | 23  | 50.0 |
| 無回答 | 5   | 10.9 |

- ・家が狭い。下の子が中学生になるともう一部屋あると理想。
- ・オーナーが強く借家ができなかったので、泣く泣く家を購入せざるを得なかった。
- ・古い家であちこちの修繕が必要。
- ・住んでいる地域や仕事関係の付き合いが複雑。
- ・家賃が高い ・ローン額が増えた
- ・家が古く、耐震性に不安がある。山の手なので土砂災害等も心配。車が入らない場所なので不便。
- ・住民の方が高齢者ばかりで、若く見られて役員等が回ってくる。
- ・今は賃貸住宅なので、将来の住居をどうしようか迷ってる。ローンが組みにくい年齢となってしまっている。
- ・再婚をし、子どもも働くようになり、生活は大変だが収入の数字が増えたので、公営住宅を出なくてはいけなくなる。その後の住宅をどうするか。
- ・大家さんとの意見の不一致（除草剤の健康への影響、家の修繕、自然農法での畑の使い方）
- ・子どもの進学、独立に伴い、今の住宅より狭く安い賃貸を探している。

## Q7 現在ある公的支援(住宅支援、高速代無料<福島県母子避難者向け>、避難元情報の送付等)で改善を望む点がありますか？

|     | 回答数 | %    |
|-----|-----|------|
| はい  | 6   | 13.0 |
| いいえ | 21  | 45.7 |
| 無回答 | 19  | 41.3 |

- ・住宅支援を続けてほしい。
- ・関東からの避難者への支援が全くないこと
- ・自主避難の人にも支援が欲しい。住宅手当等。
- ・住宅支援を再開してほしい。福島へのツアーの継続をお願いします。

Q8 公的なもの、民間のものに関わらず、これから必要とする支援があればお書きください。

- ・ 関東からの避難者にも公的支援を多くしてもらいたいです。
- ・ 現状を記録すること
- ・ 親身になってくれる人との人間関係
- ・ 健康相談
- ・ 空き家バンクの早期整備
- ・ 移住支援（親戚がいないため、農業の手が不足の際、経費が必要となる）
- ・ 帰省費用等の支援、毎年の健康診断費用の助成
- ・ 自力でここまでやってきてしまったので今更な感じです。
- ・ 福島の空き地の手入れ、有料でも頼みたいと思っている。
- ・ 被災地へ戻るための支援として、就職情報・住宅地情報も欲しい。

Q9 生活費を支えているものは何ですか？

（家族で避難されている世帯）

|                   | 回答数 |
|-------------------|-----|
| 世帯主の収入            | 14  |
| 配偶者の収入            | 1   |
| 年金                | 2   |
| 世帯主の収入＋配偶者の収入     | 4   |
| 世帯主の収入＋預貯金        | 2   |
| 年金＋預貯金            | 1   |
| 世帯主の収入＋配偶者の収入＋預貯金 | 4   |
| 世帯主の収入＋配偶者の収入＋その他 | 1   |
| 世帯主の収入＋預貯金＋その他    | 1   |
| 配偶者の収入＋預貯金＋その他    | 1   |
| 無回答               | 2   |

（その他）  
実家より借り入れ／児童扶養手当  
／父母の援助

（単身・母子等家族の一部で避難されている世帯）

|                    | 回答数 |
|--------------------|-----|
| 本人の収入              | 2   |
| 家族からの仕送り           | 4   |
| 生活保護               | 1   |
| 本人の収入＋家族からの仕送り     | 2   |
| 年金＋賠償金             | 1   |
| 年金＋預貯金             | 1   |
| 本人の収入＋家族からの仕送り＋預貯金 | 2   |

Q10 生活費・収入は十分ですか？

|      | 回答数 | %    |
|------|-----|------|
| 十分   | 4   | 8.7  |
| まあ満足 | 20  | 43.5 |
| 苦しい  | 22  | 47.8 |

## Q11 生活費・収入に関して、ご自由に

- ・夫が単身生活のため、費用がかさむ
- ・農業だけの収入では生活が難しい。
- ・短期雇用社員なのでボーナスが出ない。いつ福島に帰るかわからないから正社員登用してもらえないと思う。
- ・二人でそれぞれ週1日ずつ働いています。それでも十分です。
- ・広島市の光熱費、物価が高いこと
- ・子どもに障害があり、大きくなってきていろいろとお金がかかる。
- ・母子自主避難をしていた時に、将来のための預貯金を使ってしまったので、将来が心配です。
- ・パートだと苦しいが、子どもの精神的なフォローもできる自由の利くパートが今のベスト。
- ・(広島への) 引っ越しで蓄えを使ってしまうので子どもの大学費用やら成人式やら捻出するのが大変!! 蓄えが出来ないまま日々の生活に追われて9年!!
- ・他の土地で生きるのは大変。
- ・今の生活でお金に困っていないが、遠くない未来に被災地へ長男の家族として戻らねばならないことを考慮すると、再度就職活動し、移住して子どもたちの環境の変化への影響を考えると不安が先行する。
- ・これから子どもの教育費がかかるので不安。
- ・子どもが県外進学を望んでおり、ダブルで生活費がのしかかる。働き方改革で残業時間が減り、収入も減っている。

## Q12 お仕事面での悩みはありますか？

- ・いつまで続けられるかわからない（避難元に戻るかもしれないため）
- ・新型コロナの影響で私の仕事が減ってきている。
- ・定年後の仕事が見つかっていません。
- ・転職を考えています。やりがいのある仕事を探しています。
- ・仕事内容に悩みはないが、短期雇用社員のためボーナスがなく正社員登用してもらえないので収入面で悩む。
- ・ずっと東北だったので、広島人の性格に違和感があること。
- ・賃金が安い。重労働。
- ・就活中です。年齢的に正社員待遇の仕事が見つかるか。？
- ・キャリアを生かしたい。収入を上げたい。
- ・ダブルワークを始めたのはいいが、体調を整えるのが難しい。
- ・増税後、もともと扶養内であったのに、さらに時短を求められてあまり働けなくなった。
- ・主婦に都合の良い仕事がありません。
- ・肉体労働が多く、加齢に伴い身体がきつい。
- ・仕事が多忙。月50時間位残業がある。安定した収入はあるが、心身共に辛い時がある。

## Q13 ご家族の中で健康に不安のある方はいらっしゃいますか？

|     | 回答数 | %    |
|-----|-----|------|
| はい  | 22  | 47.8 |
| いいえ | 26  | 56.5 |
| 無回答 | 6   | 13.0 |

Q14 今後のご予定は決まっていますか？

|               | 回答数 | %    |
|---------------|-----|------|
| 今住んでいる自治体へ定住  | 18  | 39.1 |
| 避難元ではないところへ移動 | 2   | 4.3  |
| 近いうちに避難元へ戻る   | 0   | 0.0  |
| いずれ避難元へ戻る     | 2   | 4.3  |
| 決めていない        | 16  | 34.8 |
| 上記に当てはまらない    | 8   | 17.4 |

<希望としては…>  
 避難元に帰りたい：3  
 避難先に定住したい：7  
 選択なし：6

(今住んでいる自治体に定住)

- ・農的暮らしができる
- ・持ち家にしたから
- ・この場所が気に入っている。
- ・都会で生活したくない
- ・子ども達の学校が近く、親や友人・知人が多い。
- ・子どもがこの地で進学する予定。仕事も少しながらお客様が増えているため。
- ・仕事があるから。

(避難元でないところへ移動)

- ・工場移転の話が出たから。2022年ごろに完成する新工場に少しずつ異動するそうです。

(いずれ避難元へ戻る)

- ・年老いた母が一人で暮らしているため
- ・長男家系、墓守

(決めていない)

- ・年齢的に転職が難しい。子どもの学校による。
- ・戻りたいけど汚染が怖すぎる。広島でも近くの原因が爆発したらまたどこかへ逃げる。
- ・家族で話し合いができていない。
- ・主人の仕事、父母の介護が出てくるかどうか。
- ・避難元にいる親が一人で暮らしている。
- ・体調がよくないので、回復してから考えたい。
- ・世帯主の仕事次第
- ・子どもが高校を卒業したときの状況で決める。
- ・高齢の親が心配だが、親族が福島に集中しているため離れた場所において、何かの時に支援できる役割を担うことが出来ればよいと考えているため。

(上記には当てはまらない)

- ・夫の仕事のある場所と子供の成長に適した生活場所をその都度考えながら居場所を決めたい。
- ・東京からの避難ですが、避難元へ戻ることはありません。ですが、他県や広島内でも移動先を探しています。
- ・仕事次第
- ・しばらくは今住んでいるところ。子どもが全員自立すれば移動。移動先は未定。
- ・どうなるか分からない。

Q15 今、大変なこと、つらいことは何ですか？

(複数回答あり)

|                                | 回答数 | %    |
|--------------------------------|-----|------|
| 仕事が見つからない                      | 5   | 10.9 |
| 仕事にやりがいを感じない                   | 3   | 6.5  |
| 生活費が足りない                       | 13  | 28.3 |
| 支援が縮小していくこと                    | 4   | 8.7  |
| 避難指示が解除されたこと                   | 1   | 2.2  |
| 避難指示が解除されそうなこと                 | 3   | 6.5  |
| 体調不良                           | 10  | 21.7 |
| 忙しすぎる・自分の時間がないこと               | 9   | 19.6 |
| 親の介護                           | 4   | 8.7  |
| 育児                             | 1   | 2.2  |
| 子どもの教育・進路                      | 11  | 23.9 |
| 家族バラバラに暮らしていること                | 6   | 13.0 |
| 避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと         | 23  | 50.0 |
| 心の余裕のなさ・精神的な不安定さ               | 7   | 15.2 |
| 家族間の意見の不一致(夫婦間、パートナーと自分)       | 1   | 2.2  |
| 家族間の意見の不一致(自分と親)               | 4   | 8.7  |
| 家族間の意見の不一致(自分と子ども)             | 0   | 0.0  |
| 避難元が復興しないこと                    | 1   | 2.2  |
| 避難元の復興が望む形と違うこと                | 5   | 10.9 |
| 避難元に帰れないこと                     | 3   | 6.5  |
| 今住む地域に親しい友人がいないこと              | 3   | 6.5  |
| 避難元の友人と疎遠になってしまったこと            | 8   | 17.4 |
| 震災や原発事故のことが世間から忘れられているように感じること | 15  | 32.6 |
| 原発が再稼働されたこと                    | 15  | 32.6 |
| 避難先の人たちと意識の差を感じる               | 9   | 19.6 |
| 避難への無理解                        | 5   | 10.9 |
| 特にない                           | 2   | 4.3  |
| その他                            | 4   | 8.7  |

(その他・補足説明)

- ・原発事故による子供の体調への不安
- ・仕事ができない
- ・生活費は何とかできそうだが、親のケアのための帰省費用の捻出をいつもどうしようか懸念している。本当は月イチで、帰省して病院の付き添いなどケアしたい。
- ・避難元に頻繁に帰って親・友達と会いたい。帰れるときは帰りたいが、先立つものもなくあきらめしかない。
- ・避難元の人たちと意識の差を感じる
- ・原発の再稼働。してもよいが、対策がしっかりとられているのか不透明。責任の取り方もしかり。

- ・社会への不安感（政治・経済・健康）
- ・主婦に都合の良い仕事がなかなか見つからないこと。
- ・自分が体調悪い時、仕事の時などに子どものことをお願いできる人がいない。
- ・避難指示解除や常磐線の全線開通のニュースだけ見ると原発事故が終わったことのような印象になってしまうが、まだ原発事故は事後処理も渦中だし、問題はまだまだたくさんある現実を忘れないでほしい。と思う一方で、たくさんの災害が起こって、たくさんの被災者がいるのも事実なので、過去のことのような印象になるのも仕方ないのかも…とも思う。

Q16 今後、どんなことに不安がありますか？

（複数回答あり）

|                   | 回答数 | %    |
|-------------------|-----|------|
| 避難先の生活が安定するか      | 10  | 21.7 |
| 自分の健康が保てるか        | 25  | 54.3 |
| 家族の健康が保てるか        | 22  | 47.8 |
| 避難し続けられるか         | 4   | 8.7  |
| 公的支援がいつまで続くか      | 5   | 10.9 |
| 避難指示が解除されること      | 0   | 0.0  |
| 子どもをしっかり育てられるか    | 11  | 23.9 |
| 子どもの教育・進路         | 18  | 39.1 |
| 家族と一緒に暮らせるか       | 5   | 10.9 |
| 夫婦の関係が悪化しないか      | 3   | 6.5  |
| 避難元の親・親族との関係、付き合い | 14  | 30.4 |
| 避難元へ帰れるか          | 4   | 8.7  |
| 避難元へ帰らなければいけないこと  | 2   | 4.3  |
| 避難元へ帰った時に孤立しないか   | 2   | 4.3  |
| 避難元にいる親の老後・介護     | 20  | 43.5 |
| 避難先での人間関係         | 1   | 2.2  |
| 特にない              | 4   | 8.7  |
| その他               | 1   | 2.2  |
| 無回答               | 1   | 2.2  |

（その他・補足説明）

- ・高齢なので、なるべく元気に過ごしたい。
- ・一人暮らしで高齢になる親族が今後介護が必要になったときどう関わったらよいか。
- ・老後の不安!!リタイアしたら楽しくすごしたい。
- ・どこに定住できるか

Q17 震災から間もなく9年の時期になって、変化してきたことは何ですか？良いことでも悪いことでも気づきがあれば教えてください。

(複数回答あり)

|                       | 回答数 | %    |
|-----------------------|-----|------|
| 気持ちが穏やかになってきた         | 6   | 13.0 |
| あきらめのような気持ちが強くなった     | 13  | 28.3 |
| 生活が安定してきた             | 10  | 21.7 |
| 楽しいことをしようという気持ちになってきた | 9   | 19.6 |
| 無気力になってきた             | 3   | 6.5  |
| 前向きな気持ちになってきた         | 7   | 15.2 |
| 将来への不安が強くなった          | 6   | 13.0 |
| 広島に定住する気持ちが固まった       | 4   | 8.7  |
| 避難元へ帰りたい気持ちが強くなった     | 0   | 0.0  |
| 怒りが強くなった              | 1   | 2.2  |
| 変化はない                 | 7   | 15.2 |
| その他                   | 7   | 15.2 |
| 無回答                   | 2   | 4.3  |

(その他・補足説明)

- ・複雑すぎて言葉で表しにくい。あきらめも希望も両方あり。
- ・広島に来てからの8年で、関東の親2名と死別しています。末期には毎週新幹線で通っていました。遠くへ来る選択をしたこと自体が心残りとなっています。他にも同じ体験の方がいらっしゃるのではないかと心配です。
- ・生活は安定してきたが、収入が少ないままで安定できているので不安はある。副業等を考えねば…。
- ・生活については不安、不満はあまりない。しかし、まるで原発事故収束と思えないのに、身近でもマスクもほとんど無関心のように感じることは怒りを覚える。
- ・放射能への危機意識が薄れてきて、子どもの学校給食の対応の仕方などに迷いが出てきた。
- ・良くわからない
- ・淡々と毎日を生きている。
- ・現在主人は入院、息子は施設、私は自宅と、3人家族バラバラとなりました。
- ・初めから変わってない気がする。震災の時から平常心を保つようにしてたので(内心はどおすっぺ)。今も変わらずできることはやるけどできないことは無理せず。
- ・「自分たちと避難しなかった友人(避難元)や、広島にいる友人(避難先)の放射能だけでなく”健康“についての考え方が根本的に違う」ということが明確になった。価値観の多様性。
- ・自分たちや親世代の体調が悪くなる一方であること。

Q18 自分を「避難者である」と言うことに抵抗はありますか？

|          | 回答数 | %    |
|----------|-----|------|
| とても抵抗がある | 3   | 6.5  |
| 少し抵抗がある  | 17  | 37.0 |
| あまり抵抗はない | 14  | 30.4 |
| 全く抵抗はない  | 12  | 26.1 |

とても抵抗がある

- ・原発が容認されている今の日本で原発からの避難というのは理解されにくい。
- ・きっかけはそれであったが、今は今を生活しているから。
- ・理解してもらえない感じがしない。言わずに生活している方が楽である。

少し抵抗がある

- ・避難元である東京では、全く震災前と変わらぬ生活をしているので、言いにくい。
- ・転職が主にできているので。転職がただしかったとは考えてはいません。
- ・関東は避難対象の県ではないため、理解されにくい。
- ・もともと広島出身で、帰ってきたという気持ちの方が月日と共に強くなっています。
- ・世間では原発事故は終わったものかようになっており、自分から避難者だと言にくい。
- ・非難（罵倒）されたことがあるから。
- ・理解されにくいから。
- ・広島でも災害にあい苦しみがまだ続いている人もいます。私たちが今度は何かする番では、と考えもするかと言え、何もできずにいる。
- ・避難してきたことは事実なので避難者だと認識しているが、それをどう受け止められるかという点に不安を感じる。

あまり抵抗はない

- ・差別を受けるようなことがないから。
- ・本当なので。
- ・親しい人にしか言わない。
- ・自分の責任ではなく、そうなった者であるから。親からは裏切り者と言われてつらいが、母親として子供を守るために頑張ってきたことは間違っていないと思うから。
- ・今までの生活を捨て避難せざるを得ず避難したことに對し、抵抗はありません。避難者は奈落の底を皆さん体験し頑張っていると思います。
- ・避難してきたのは事実だが、9年にもなると記憶も薄れてきている。

全く抵抗はない

- ・原発事故がなければ、福島にいたと思うので、やはり、自分は避難者だと思います。
- ・引っ越しのきっかけは避難だったので。
- ・しゃべったら絶対バレるし…。

Q19 今、楽しいこと、楽しみにしていることはありますか？

|     | 回答数 | %    |
|-----|-----|------|
| はい  | 36  | 78.3 |
| いいえ | 4   | 8.7  |
| 無回答 | 6   | 13.0 |

- ・ 家族旅行、家族でのおでかけ ・ 広島街について知り、人々とかかわりを持つこと。
- ・ 子供の成長 ・ 習い事、スポーツ ・ 帰省 ・ 家族・親戚が遊びに来ること
- ・ 新鮮な野菜がたくさん売っているので、料理が楽しみ ・ 自分自身のしている勉強 ・ カーブ！優勝！
- ・ 知人、友人との会話 ・ サンプルの活躍 ・ 子どもの試合を観ること、応援すること。
- ・ 畑 ・ 家づくり ・ 引っ越し ・ 仕事が楽しい ・ 子どもがおちついてきた ・ 趣味のサークル
- ・ 普段の生活 ・ 「たねまく広場」に行ってお話すること。 ・ ヨガ ・ 家族との時間
- ・ 一人で過ごす時間 ・ 夫婦でお酒を楽しむこと。 ・ 広島街イベント
- ・ 避難元の友達と東京で合流して行くライブ ・ ペットと過ごすこと
- ・ 子ども達が自分の力で進路を切り開き、自立をめざしていること。
- ・ 休日。時間に追われずただのんびり過ごしている。

Q20 今後も交流カフェは必要ですか？

|       | 回答数 | %    |
|-------|-----|------|
| 必要    | 31  | 67.4 |
| 不要    | 6   | 13.0 |
| わからない | 2   | 4.3  |
| 無回答   | 7   | 15.2 |

Q21 アスチカに求めているもの、会員でいること理由は何ですか？

(複数回答あり)

|                                    | 回答数 | %    |
|------------------------------------|-----|------|
| 他の避難者と知り合うため                       | 14  | 30.4 |
| 避難者同士のつながり(交流会などには出ずとも)            | 29  | 63.0 |
| アスチカニュースなどが届くこと                    | 17  | 37.0 |
| ご招待、支援物資などの情報獲得                    | 6   | 13.0 |
| 公的支援の情報獲得                          | 14  | 30.4 |
| さまざまな催しの情報獲得                       | 14  | 30.4 |
| 避難者であることの自己確認(「自分＝避難者」であることを確かにする) | 6   | 13.0 |
| 困った時の相談場所として                       | 22  | 47.8 |
| 精神的支え                              | 14  | 30.4 |
| 避難者同士の情報交換のため                      | 16  | 34.8 |
| その他                                | 6   | 13.0 |

(その他)

- ・唯一、原発事故での心配事を話せる場であるため、必要な場所です。心のよりどころです。必要があっていったときに素直に原発の事を話せる場所です。
- ・親戚のように、近からず遠からず、互いに心配しあえるのが心強い。
- ・価値観の似ている人々のコミュニティーなので、おススメのものとか、店とか、取り組みとか、体験とか、共有したい。

Q22 「アスチカがあってよかったと思った瞬間があれば教えてください。ささやかなものでもかまいません。

- ・先日の交流会は楽しかったです。今住む地域の誰とも共有できない気持ちを話したり、共感しあえる人がやはりここにはいると再認識できました。
- ・普段の生活で避難者と意識するチャンスが少なくなってきましたが、アスチカがあると原点に戻れると思います。
- ・会から訪問していただき、楽しい話が出来たとき
- ・あれこれと説明や、放射能の話ができる。ストレスの度合いが違います。ホッとするとはこういうことだったんだと、久しぶりに感じました。
- ・避難している方が頑張っている情報を見ると、自分も頑張れるため。
- ・エコー検査で娘に腫瘍が見つかったこと
- ・いろんなイベント等に呼んでもらえた時
- ・避難当初、縁もゆかりもない土地で同じ境遇の方々が沢山いること、アスチカという団体があることは心の支えになっていました。また、ADR 制度があり、弁護士を紹介していただいたこと。
- ・もうかれこれずーっと支えていただいております。本当にありがとうございます。もう、全部です。全部。
- ・福島の情報を得られた時
- ・自身が体調不良になったとき、本当にお世話になったこと。アスチカの行事等で、広島の方々と知り合えたこと。
- ・スタッフの言葉に私は救われました。本当にそうだったよ！
- ・いろんな人との出会い
- ・支援情報の提供、同じような境遇の方々がいて、コミュニティーがある、というだけで励みになる。会の方が親切。
- ・精神的に追い詰められていた時に相談に乗っていただいた。
- ・避難者の窓口として、多方面への働きかけ感謝しています。

Q26 広島の中で心を許せたり、頼り合ったりできる人とのつながりはできましたか？

|           | 回答数 | %    |
|-----------|-----|------|
| はい        | 36  | 78.3 |
| いいえ       | 6   | 13.0 |
| どちらともいえない | 1   | 2.2  |

(「はい」の人)アスチカがなくとも成り立つ？

|     | 回答数 | %    |
|-----|-----|------|
| はい  | 27  | 75.0 |
| いいえ | 5   | 13.9 |
| 無回答 | 4   | 11.1 |

(「いいえ」の人)なぜ？(複数回答あり)

|                 | 世帯数 | %    |
|-----------------|-----|------|
| 出会いがない          | 1   | 16.7 |
| 時間がない           | 0   | 0.0  |
| 出会う場に行っても見つからない | 3   | 50.0 |
| 必要としていない        | 4   | 66.7 |
| 無回答             | 1   | 16.7 |

- ・原発事故、放射能の話はできない。
- ・なかなかそこまで濃い友達を作るのは難しい年齢です。
- ・友人はいても、深い付き合いではないので。

Q28 避難先での生活の中で、不足していると思うことはありますか？（「あと、これが揃えば（得られれば）、ある程度満たされた状況・気持ちで過ごせる」と思うもの）

|     | 回答数 | %    |
|-----|-----|------|
| ある  | 21  | 45.7 |
| ない  | 18  | 39.1 |
| 無回答 | 7   | 15.2 |

- ・社会インフラ。近くに警察、消防署、公民館がない。
- ・肉親 ・アスチカ女子飲み会
- ・やはり親、兄弟がそばにいないこと。子育て中に助けを呼びたいときにも難しい。
- ・自分が住みたいと思える物件が、市内中心部にはないこと。
- ・気持ちに寄り添ってくれる友人。そういう近隣の方がいれば、より定着できる。
- ・生活が成り立つ収入とやりがいのある仕事。
- ・学校の見つけ方
- ・気分転換できたらいいなあー。温泉旅行なんかゆつくり出来たらいいかなあー。
- ・昔の友人と心置きなく会えること。
- ・しょっちゅう友人と会うこと。気のおけない友人とくだらないバカ話がしたい。
- ・実家との交流(なかなか帰省できないので)
- ・経済的余裕
- ・子どもをみてくれる人
- ・何かあった場合、保証人等になってくれる人が身近にはいないこと。

問 29 その他、ご意見ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

- ・約9年が経ち、原発事故以降も国内の政治、経済、社会のシステムのいたる所に根っこが同じと思われる問題が次々とあらわれるのを見て、被害者の気持ちより変化を望み起こしていくための視点を持ちたいと思うようになりました。
- ・細く長く皆さんとつながっていられたらとねがうことです。私にとってはかけがえのないアスチカです。
- ・アスチカメンバーの避難物語を本にする。そして、私たちの気持ちをいろんな人に伝えて、わかってもらおう(多少でいい)本までいかななくても文集みたいな感じでも。
- ・いざというとき、心底気兼ねなく頼れる人が身近にいないのは心細いです。
- ・今、歯医者にかかっているが、レントゲンを撮られるときに「放射線管理区域」でドアを閉められる。福島県にはいまだにそういう場所に24時間住んでいる。風評被害という言葉が嫌いです。復興などできないと思うと福島に帰る気持ちが萎える。
- ・交流カフェは縮小でもいいので、続けてもらえると嬉しいです。いつも支援ありがとうございます。
- ・コロナのことも、原発事故のもどかしさ、くやしき、悲しきと似ています。巻き込まれるのではなく、しっかり心を研ぎ澄まして、賢く生きてみたい。
- ・同じ境遇の人とつながりがあるということは広島で暮らす中での心強さになっていると思います。
- ・新型コロナの騒動を見ていると、原発事故後を思い出します。調べない、教えない、事態を小さく見せようとする。。。
- ・放射能に対して気持ちが緩んでいく中で今、または今後も続く汚染状況についての情報が欲しいです。

## 避難元別アンケート

【宮城県から避難している方】(回答数:3)

問 a 避難者であることで嫌な思いをされましたか？

|     | 回答数 |
|-----|-----|
| はい  | 1   |
| いいえ | 2   |

(放射能が理由で避難した方)

放射能を気にすることに対し、避難元で周囲の理解はありましたか？

|                   | 回答数 |
|-------------------|-----|
| あった               | 0   |
| なかった              | 0   |
| 多くは理解がなかったが、仲間はいた | 1   |

【福島県から避難している方】(回答数:23)

問b 福島県から来ていることで、これまでに「放射能」に関わることで嫌がらせやいじめを受けたことはありますか？

|     | 回答数 | %    |
|-----|-----|------|
| はい  | 2   | 8.7  |
| いいえ | 17  | 73.9 |
| 無回答 | 4   | 17.4 |

- ・「福島弁を使うな。避難者だと言うな」と言われた
- ・ガソリンスタンドで「NO 福島」というプレートを見た。

問c 福島県に言いたいことはありますか？

- ・健康被害、放射線量等、包み隠さず情報を開示してほしい。
- ・数年ぶりに福島に行ったら、あちこちに原発事故があったことを設置してあって、それを読むと気持ちが落ち込みます。帰りたとは思わなくなった。
- ・福島県内で行われている震災・放射線関係のイベントに招待してほしい。
- ・支援を切らないで！原発事故がなかったら、大切な親と離れてまで広島県には100%来ていません。
- ・自主避難者に対して色々理解支援が必要と思う。自主的に避難した人たちも大きな犠牲があることを理解する必要。一生懸命働き築いた資産等を捨てざるを得ず、売却等たくさんの犠牲を払う。
- ・オリンピック、復興と大変だと思います。頑張りすぎないでほしいです。
- ・原発事故の被害を受けた県民の味方でいてほしい。県民を背負って国と向き合っていてほしい。実害を風評被害と一緒にたにしないでほしい。

【関東圏から避難している方】(回答数:20)

問d 避難者であると周りの方に伝えていますか？

|                      | 回答数 | %    |
|----------------------|-----|------|
| 常に伝えている              | 4   | 20.0 |
| 一部の人にだけ伝えている         | 7   | 35.0 |
| 以前は伝えていたが、今は伝えていない   | 5   | 25.0 |
| 以前は伝えていなかったが、今は伝えている | 0   | 0    |
| 以前も今も伝えていない          | 0   | 0.0  |
| 無回答                  | 4   | 20.0 |

問e 避難者であると伝えたことで嫌な思いをされましたか？

|     | 回答数 | %    |
|-----|-----|------|
| はい  | 6   | 30.0 |
| いいえ | 11  | 55.0 |
| 無回答 | 3   | 15.0 |

(「はい」の方)

- ・気にしすぎではないかと意見をもらった時、モヤモヤしました。
- ・いくら説明しても理解されない。
- ・未だ帰らないのか、と言われたこと。
- ・話した相手がどう受け止めていいかわからなく、戸惑っている感じだった。

問f 避難元で放射能を気にすること、避難することに周囲の理解はありましたか？

|                   | 回答数 | %    |
|-------------------|-----|------|
| あった               | 4   | 20.0 |
| なかった              | 3   | 15.0 |
| 多くは理解がなかったが、仲間はいた | 10  | 50.0 |
| 無回答               | 3   | 15.0 |

理解らしきものはされたが、共感を感じたことはない。

問g 今、望むことは何ですか？

(複数回答あり)

|                  | 回答数 | %    |
|------------------|-----|------|
| 関東圏からの避難への理解     | 8   | 40.0 |
| 支援範囲の拡大          | 3   | 15.0 |
| 住宅確保サポート         | 1   | 5.0  |
| 就職サポート           | 0   | 0.0  |
| 関東圏から避難している人との交流 | 5   | 25.0 |
| その他              | 1   | 5.00 |

## 問 h 避難元自治体に言いたいことはありますか？

- ・政府の指示に従うだけでなく、独自に判断をしていってほしいです。
- ・避難元の子ども達の健康を守ってほしい。せめて、甲状腺検査をした方がよい。
- ・安全に対する基準値が高すぎて、子どもを守れない。
- ・何が起こったのか、今もおこっていることについて忘れないでほしいと望みます。
- ・就職活動のサポート（交通費支援・年齢上限など）及び、その情報発信。